

## 30302機械器具設置工事業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	14~15	ダクト工が、天井内で貫通部を開口する際、ベビーサンダーを使用した。その際、被災者は、すぐ横の天井裏で作業確認とダクトレールの再確認などを行っていた。隣で開口中の作業員から、火がついたとの報告を受け、見てみると天井裏に飛散し、堆積していた埃や保温材に飛び火していた。それを見て咄嗟に保温材を撤去し、火の粉を手で扇いで消火した際に、両手に火傷を負った。	40	11	391	30 ～ 49
2	2017	12	15~16	工場内で鋼材を運ぶとき、よそ見をしてしまい、足が絡んで躓き転倒し、左膝を擦り剥いた。	21	2	921	10 ～ 29
3	2017	12	11~12	利用者宅のサービスを終え、次の利用者宅に自家用バイクで移動中、バイクごと転倒した（悪天候による単独転倒）。	44	5	411	1～ 9
4	2017	12	16~17	ブロック塀の水槽側に立てた脚立で、槽内清掃で発生したゴミ（モルタルかす、木片等）を土のう袋に入れて、ブロック塀外側の集積所まで小運搬しようとしていたときに、脚立上で足を滑らせて、ブロック塀の内側（脚立の隣）に転落した。その際、その作業を監視していた者はいなかったが、ドンツと音がしたため他の作業員が見に行くと、仰向けに倒れていた。その後、救急車にて搬送され、右足の大腿骨骨折と診断された。	67	1	371	1～ 9
				厨房換気扇取替工事で、高さ80cmの作業台の上でコンセントプ				1～

5	2017	12	11~12	ラグを取り付けていたとき、体勢を変えようとした際にバランスを崩し、後ろ向きに転倒し、腰を打った。	68	1	371	9
6	2017	12	10~11	キャッパ移載機の昇降用サーボモーター交換のため、モーターとスライドベアリングとのカップリングの締め付けボルトを緩めたところ、スライドベアリングの駆動シャフトが自重（約40kg）で空回りし、約450mm降下したため、モーター取付ベースと昇降スライドベースの間に右手親指と人差し指を挟み被災した。	53	4	169	1~9
7	2017	12	22~23	作業場にて、空調内機フェイスの取付作業をローリングタワー上で行っていたところ、ローリングタワー撤去のため現場代理人より下りるように指示を受けた。被災者が下りようと昇降用梯子に足を掛けたとき、現場代理人が転落防止用筋交いを外し、ローリングタワーが屈曲して、転倒した。そのため、被災者は最上部より左踵から着地する状態で転落し、左踵骨骨折と診断された。	63	1	371	1~9
8	2017	12	13~14	工場内、蒸気配管工事における架台設置のため鋼材に穴をあける作業を行っていた。マグネットドリルを使用したか、軍手のまま作業を行い、鋼材についた油を手で拭き取ろうとして、回転するドリルに巻き込まれ右手指を損傷した。	22	7	169	1~9
9	2017	11	9~10	農道工事盛土施行区域内において、斜面を伐採作業中、高さ2m~3mの斜面から滑落し作業員1名が負傷した。（頸椎骨折1ヶ所、背骨3本骨折）当日小雨が断続し降っており、斜面が滑り易くなっていた。また、事故当時もう1名いた作業員が道具を取りに行っており、一時単独作業となっていた。	43	2	416	1~9
10	2017	11	10~11	ボイラー設置工事の現場で、出入口付近にあった工事材料を取ろうとしていたところ、強い突風が吹いて、ドアが勢いよく閉まり、被災者の左手を挟んで負傷した。	66	7	419	1~9
				当社工場内で被災した。被災者は、定盤上（幅1525mm×長さ				

11	2017	11	14～ 15	3050mm×高さ400mm) のステンレス板と、ステンレス製の枠を接着する作業を行っていた。接着剤を塗布後、接着面を固定する為、鉄製の重り（幅60mm×長さ840mm×高さ60mm×重量20kg）を枠の上に置き、左手を床について、余分な接着剤を右手に持った布で拭き取っていた。その際、重りが落下し左手人差し指の上に当たり負傷したものである。被災原因として、定盤の端で作業を行っていたことに加え、重りの載せ方がステンレス枠の上にきちんと載っていなかった事が考えられる。尚、被災者はゴム手袋を着用して作業を行っていた。	42	4	521	50 ～ 99
12	2017	11	18～ 19	3FF級冷蔵庫内で既設床置型ユニットクーラーのみ撤去作業中フォークリフトにて既設ユニットクーラーを約70mm位下げているところ、6mの高さから既設木ダクトとダクト内に充満した氷の塊が落下し、被災者の上に落下した。	62	4	391	10 ～ 29
13	2017	11	10～ 11	就業場所であるうどん工場にて1人で製麺機を使い、うどんの生地を伸ばす作業を行っていた。その際にうどんの生地の繋ぎ目を直すため、上下に動作するローラーとコンベアーとの隙間（通常3～4cmある）に生地の上から右手首を挟まれて負傷した。	25	4	222	10 ～ 29
14	2017	11	9～ 10	配電盤（空調動力盤）を2階機械室に搬入する際に、ビニールで養生されたまま横倒しにして、ナイロンスリングを用いて吊り上げながら、平行移動した。2階ステージ上に来た際、ナイロンスリングが外れ、配電盤が2mの高さから落下し、ステージの手摺りに当たった。その後配電盤が被災者の方に倒れて来たので、受け止めようとしたが重さに耐え切れず配電盤の下敷きとなった。	22	4	352	1～ 9
15	2017	11	2～3	耐震化等工事において、エレベーターオモリの交換作業中、電動チェンブロックで吊り上げたオモリ（1枚30kg）が、ピット床面から約1500mm上ったところでスリングベルトからオモリが	62	4	219	1～

				抜けバッファー頂部にバウンドした後、ピット内で作業を見守っていた（500mm～600mm離れて）被災者左腕に当たり骨折した。				9
16	2017	10	5～6	元請によるロンピック添加剤ミキサー整備工事に向かう際に高圧洗浄車を準備しているときに、洗浄車後部の油圧式ホースリールを巻き取り時に、ホースの先端が近くに止めてあったリフトのタイヤに引っ掛かっていることがわからずに巻き、ホースが飛んできて目に当たり負傷した。	47	4	221	1～ 9
17	2017	10	9～ 10	工場内において鉄骨を二人で運ぶ時に誤って左足甲に鉄骨が落ちて負傷した。	44	4	521	1～ 9
18	2017	10	14～ 15	工場内に於いて、機械据付（バレル）作業中に別棟で作業をしている作業員より作業内容の件で電話があり、場内がうるさく聞きづらかったため場外へ出て話すため出口に向かった。その際、新工場のため床に張ってあったシートが風でめくれ足に絡みもつれ、倒れたときに右手に携帯を持っていたため痛めていた左手を床について左手首を負傷したものの。	59	2	417	10 ～ 29
19	2017	10	15～ 16	フィルム延伸機の連結作業中にクリップ同士を連結する為、クリップの連結部分に指を入れてピンが入るように調整していた。作業員A、作業員Bが連結されていたクリップを先に送ろうと引っ張ったところ、作業員Cが指を連結部分に入れていた為、挟まれ負傷した。	75	7	612	1～ 9
20	2017	10	9～ 10	一般廃棄物処理施設建屋4階にて溶接作業中、道具を取りに行こうと通行し、床面ダクト貫通部のダクトが外れたことにより、開口部となっていた直径約60cmの穴から3階へ転落し（高さ3.9m）全身を強打した。開口部は立札により表示されていた。	38	1	414	1～ 9
21	2017	10	17～ 18	冷凍冷蔵設備を修理中、作業工具をサービス車から運搬中携帯電話に着信有り、通話終了後再度作業工具を車から取ろうとした時サービスカーのバックドアの左角に頭をぶつけてしまっ	35	3	231	50 ～

				た。				99
22	2017	10	20～ 21	現場に行く為に一度、会社事務所に集合した。出発時間前に会社トイレ（2階）に行き、階段を下りる際に足を踏み外してしまい、左足首を捻って転倒するに至った。	50	2	413	10 ～ 29
23	2017	10	9～ 10	会社の工場内でトラックから機材の荷下ろし作業をしているときに、トラック内で騎乗式の機械に乗ってトラックの荷台からトラック後部のパワーゲート（昇降装置）に機械を移動させたところ、バランスを崩し機械ごとパワーゲートから落下し、右足を機械と床の間に挟んでしまい負傷した。	35	1	221	30 ～ 49
24	2017	10	9～ 10	浄化センター内、水処理棟2系第2生物反応室で、蝶バエの発生原因となるスガム除去作業のための空気弁操作中に、床下の配管炉内（高所）作業環境で、墜落防止の為に必要な措置を取らず、適正な保護具、昇降器具を使用せず作業し墜落（足の位置より約1.0mの高さ）した。	61	1	391	10 ～ 29
25	2017	9	17～ 18	倉庫で車の荷台から道具を降ろしている時、重さ（30kg）の道具箱が左足の甲に落としかかり負傷した。	21	4	221	1～ 9
26	2017	9	20～ 21	脚立上の立ち作業（作業床：0.9m/3尺）にて、天井カメラを取り付けている最中、作業性が悪くなり、体を反らした際にバランスを崩し転落。隣接してあるラックに頭・体をぶつけ損傷した。	43	1	371	1～ 9
27	2017	9	10～ 11	内作場の整理整頓の一環として、エアコンのドレン受けの製作を被災者が思いつき、内作場設置のボール盤（ホルソー刃取付）を用いて樹脂製カラーコーンの穴開け作業を開始した。被災者がカラーコーンを押さえ、同僚がハンドルを操作して、4か所目の穴を開けようとした時、軍手が刃に引っ掛かり、右手人差し指を巻き込まれ被災した。直後に同僚がボール盤のスイッチをOFFにした。被災者はボール盤作業時の手袋使用禁止の	73	7	152	1～ 9

				ルールは知っていたが、カラーコーン切断面のバリからの保護を優先して軍手を着用していた。樹脂製カラーコーンは、変形しやすく、固定が難しかった。				
28	2017	9	16～ 17	共同溝入溝口から500m離れた溝内で構築調査作業終了後、終了報告をするために携帯電話の電波が通じる換気口に移動して座った状態で電話で報告した。その後、立ち上がる際に立ちくらみで隣接する共同溝の開口部から2.5m転落した。	42	1	418	100 ～ 299
29	2017	9	21～ 22	改装工事にて、売場内の冷ケース冷媒配管をしゃがんで切断しているときに、背後で行われていた（2メートル）仮囲い解体作業の石膏ボードが倒れて、後頭部を強打した。	29	5	419	50 ～ 99
30	2017	9	16～ 17	住居用エレベーターの検査を行っていた。カウンタークリアランスを測定するため、1階乗場からタラップを使用して降りる際に足を滑らせた。左足首を捻る状態で着地したため、負傷した。	58	1	371	30 ～ 49
31	2017	9	20～ 21	被災者は、同日工場にて内作作業に従事していた。事務所に立ち寄った際、出入口にある段差を踏み外し転倒した際に、コンクリートに右肘を強打し骨折した。肘が曲げられない程の痛みがあり、残業中であったが近くの病院へ行った。	24	2	417	30 ～ 49
32	2017	9	2～3	列車無線用アンテナ取付柱であるパンザマストを新設する現場で、4段継のパンザマストを移動式クレーンで吊り上げて、埋設穴に建植する作業中に、4段継の下3段が抜け落ち倒れ、被災者に当たった。	44	4	418	10 ～ 29
33	2017	9	2～3	列車無線用アンテナ取り付け柱であるパンザマストを新設する現場で、4段継のパンザマストを移動式クレーンで吊り上げて、埋設穴に建植する作業中に、4段継の下3段が抜け落ち倒れ、被災者に当たった。	28	4	418	10 ～ 29
				整備工場の自動火災報知設備、定温式スポット型感知器の点検作業中、消火栓ポンプ室に入室した時、別の作業員が屋内消火				

34	2017	9	12～ 13	栓を点検中、用がありポンプ室を離れるにあたり、転落防止及び注意喚起のため、ポンプ室の入口に蓋を立て掛けて退室、その後水水槽の口が開いているのに気づかず、天井を見ながら、点検移動した所、床下水槽（深さ1m10cm位）に落下、左足の腿を水槽の円蓋枠（直径60cm位）で打撲負傷した。	24	1	414	1～ 9
35	2017	8	16～ 17	店内のエアコン取付け作業中、エアコンの室内機を持ち脚立に上り、エアコンを取付けようとしたときにバランスを崩し、脚立から転落し転倒した。転倒した際に床に左肩を打ちつけた。	52	1	371	1～ 9
36	2017	8	9～ 10	調整池掘削及び生コンクリート打設作業中、地盤が粘性土でもあって足元が悪かった。そのため、コンクリート打設用の仮設鉄板に足を滑らせ、左膝付近を怪我した。	25	2	417	10 ～ 29
37	2017	8	9～ 10	一戸建ての2F屋根上より、不用なアンテナを1Fに運ぶ作業をしていた。右手にアンテナを持って梯子で降りていたが、アンテナが長かったために木の枝に引っ掛かってしまい、安定感を失ったので地上のコンクリート部に転落し、その際に足と腰を強打した。	27	1	371	30 ～ 49
38	2017	8	13～ 14	皮剥き機（おろし機の大型機械）で皮を剥いたカスが、刃とローラーに挟まっていたので、それを取るために右手を刃の所に置いていたため、右手の手の平の皮がめくれた。	36	8	169	1～ 9
39	2017	8	11～ 12	8mの高さでダクトの吊り作業を行う際、高所作業車を用いて玉掛けを行った。吊り旋回をしたところ、架台とダクトが引っ掛かり、クレーンに引き込む様に斜め吊りとなってしまった。そのため高所作業車に搭乗していた作業員が、クレーンオペレーターにブームを戻すように指示をしたが、引っ掛かりが外れて荷が振れ、高所作業車を押したことでバランスを崩し、クレーンにもたれかかる様に横転し、搭乗していた作業員2名が墜落した。その結果、1名は打撲、もう1名は右手指根元の骨折を負ったが、命に別状はなかった。	29	1	146	1～ 9





46	2017	8	10~ 11	ユニットバス設置工事にて、既設の浴室を取り壊す際に壁のコンクリートを研っていたとき、コンクリート欠片が右足に落下し、右足小指を負傷した。	36	4	145	1~ 9
47	2017	8	9~ 10	個人宅の庭の手入れ・高木伐採作業中、チェーンソーを止めた直後、左手が止まりかけのチェーンソーの刃に当たり怪我をした。	36	1	371	1~ 9
48	2017	8	16~ 17	プラント設備修理中の設備を回転させる作業に当たっていて、吊り支点となる鉄骨部材をはわせチュシブロックにて巻き上げた際、支点となる部材がたるみ落下し被災者の後頭部に当たり、はずみにて倒れ前頭部を負傷した。	49	5	521	1~ 9
49	2017	8	13~ 14	店舗エアコン撤去開始前に、電気業者とエアコンの電源を切る為、打ち合わせをしていたが、分電盤が階段ぎりぎりな為、誤って約2メートルの階段を前のめりに転倒し、地下階段踊り場まで転げ落ちてしまった。ヘルメット、安全靴は着用していた。	65	1	413	1~ 9
50	2017	7	8~9	4tユニック車で足場材を輸送中、途中で荷崩れしそうになったため、クレーンを使用して積み直し再出発した。クレーンのブームを収納し忘れていたため、道路標識の看板にブームが接触し、その衝撃で負傷した。なお、被災者は助手席に座っていた。	21	17	221	30 ~ 49
51	2017	7	8~9	4tユニック車で足場材を輸送中、途中で荷崩れしそうになったため、クレーンを使用して積み直し再出発した。クレーンのブームを収納し忘れていたため、道路標識の看板にブームが接触し、その衝撃で負傷した。	32	17	221	30 ~ 49
52	2017	7	13~14	弊社倉庫にて機材（H型鋼）をフォークリフトにて移動し定位に置く前に、フォークリフトに固定した機材を荷ほどきしたところ、荷くずれをし右足下部に落下してきた。	41	5	222	1~ 9
				踏切で遮断機取替を実施し2箇所目の踏切で遮断機運搬を4人で				

53	2017	7	2~3	手運搬中、腰に痛みを感じ一旦遮断機を下ろした。痛みは一時的なものと思い作業を継続した。帰宅後、湿布処置を行ったが痛みがとれず、第八胸椎骨折と診断された。	66	19	169	10 ~ 29
54	2017	7	14~15	太陽光パネル野立て設置工事現場において、休憩中にお茶を飲むとした際、誤って野立ての機材に手の甲をぶつけ負傷したもの。	28	3	529	1~ 9
55	2017	7	16~17	重さが1kg、大きさが80×15センチ程度の鉄板を両手に持ちながらベンダー加工機に挟み、曲げる作業をしていた。その際に、右手が滑り機械に手をついた状態で、誤って操作ペダルを足で踏み、機械に指が挟まれた。その結果、右人差し指裂傷、右中指骨折、右小指骨折、右薬指骨折の状態となった。	36	7	154	10 ~ 29
56	2017	7	10~11	事務所横の道具置場（倉庫）にて仕事の道具を整理整頓中、5tのチェンブロック（重さ約20kg）を持ち上げトラックの荷台にあげようとしたところ足元のボールにつまずいて、転びそうになって腰を捻り負傷する。	24	2	416	1~ 9
57	2017	7	10~11	SUS看板1300×4000×1.5t73kを4人で運搬し2名が足場1800の所で支え2名（被災者）が地面で位置合わせのため、ジャッキアップ地面から200位に合わせるため、充電インパクトを使って上げていた所SUS看板がグラつき（被災者）がとっさ的に支えようと左手を看板右下と地面の間に入れてしまい看板がジャッキから、はずれ落下し左中指環指、小指不全切断したものの。	46	4	521	1~ 9
58	2017	7	18~19	既設水槽の外筒壁廻り解体作業中。外筒同士を接続するボルトをはずしたため、外筒側壁を溶断中に側壁が被災者側に倒れ挟まれた。	37	5	391	10 ~ 29
59	2017	7	11~12	旧発電機で、電気配線用ピットの型枠組立作業中、型枠内にあった延長コードを取りに行くため、高さ60cmの型枠をまたぐ	59	2	412	10 ~

				際、後ろ足を固定用金具に引っ掛け体勢を崩し、型枠を固定していた鉄筋に脇腹を強打した。				29
60	2017	7	11~12	当社資材置場の片付け作業中、脚立（180センチ）から降りるときに、3段目で足を滑らせてしまい地面に着地した。着地した所に落ちていた釘が、右足裏に刺さり負傷した。	55	9	521	1~ 9
61	2017	7	15~16	テント倉庫内にて電動スルーラックのコンベアに空パレットを流し、入庫口から出庫口に搬送する際、パレットの蛇行の確認修正時に出庫口に到着した空パレットを入庫口に戻すため、空パレットを持ち上げた際に、自動運転中だったため出庫口の荷有センサーが反応し、自動的にパレットプッシャーが動き出し、ビームの間に右足首が挟まれる事故が発生。	50	7	224	1~ 9
62	2017	7	8~9	整備休憩室につながっている旧洗車場の解体の際、まちがって足を天上板の薄い梁にかけて、板が折れて落ちた。	62	1	371	1~ 9
63	2017	6	9~10	梯子の地上から1m程の高さの位置で、旧ソーラーを降ろしている際、バランスを崩してしまい旧ソーラーを手から離し、本人はその高さから地上に飛び降りた。着地面がコンクリートだったため、右足の踵骨を骨折した。着地面には障害物はなかったが、右足側に重心がかかるように着地したため骨折したと思われる。	46	3	371	1~ 9
64	2017	6	13~14	ダクト工事を担当する板金工場に所属する被災者は、災害当日、1階の機械室内において、2F系統ダクト吊辺工事に従事していた。被災者が脚立（7尺）を登る際、脚立の6段目の所で既設吊りボルトを握り、体重をかけた時に吊りボルトがアンカーより抜け、吊りボルトと共に被災者は転落し、骨折した。	61	1	371	50 ~ 99
65	2017	6	12~13	エアコン取り替え工事現場にて、室外機の配管切り込みの際、右手に持ったカッターナイフで、誤って左手中指の内側を切り負傷した。	22	8	364	1~ 9
				個人宅にて太陽光パネルの設置工事をするため、降っていた雨				

66	2017	6	14～ 15	も上がり、屋根の状況確認をするべく腰道具袋を装着して梯子で2階に上がり、軒先を歩いていたところ、屋根は乾いていたが、靴の裏が濡れていたため、滑ってしまいバランスを崩して2階から転落し、その際に右手首骨折、左上腕および右膝を打撲した。	27	1	415	10 ～ 29
67	2017	6	12～ 13	取替予定の20件を持って工事所を出発した。12件目の当該現場に到着し、全廃中のため停電にて工事に着手した。90cmの3段脚立の2段目に乗って作業を実施した。新計器取付後、脚立から降段する際、安全帯前部につけていた無停電バイパス工具（小）のフック部が脚立の天板部に引っ掛かり、体勢を崩して転落した。転落した際打撲した。その後、診察の結果、上記傷病名が判明した。	36	1	371	10 ～ 29
68	2017	6	15～ 16	旧コード工場に、裁断機の制御盤を搬入する作業を開始した。4名の作業者が制御盤を平台車に載せて搬入を開始した。制御盤を左方向へ方向転換しようとした際に、平台車が土間に引っ掛かり、制御盤が転倒し始めた。被災者は挟まれないように逃げたが、制御盤の架台のアンクルが右足の親指付近に乗り、挟まれて被災した。	30	5	417	50 ～ 99
69	2017	6	16～ 17	機器（変圧器）の撤去作業を行っていた。トラクターと機器をワイヤーで繋ぎ、トラクターで引っ張っている最中のことであった。被災者は機器から4m程の距離をとり、途中のウインチワイヤーが引っ掛からない様に手で引っ張って補助していた。そうして作業を続けていると、被災者が気付かぬ内に、機器に取り付けていた滑車が被災者の背後に接近し、あっという間に保定していた左手（小指）がワイヤーと一緒に滑車に巻き込まれ、負傷してしまった。	67	7	521	1～ 9
70	2017	6	16～	敷地内で、コンテナの外部塗装のため脚立にのり作業を行っていたが、脚立から降りようとした際に脚立の一部に足を引っ掛	40	1	371	50 ～

			17	けてしまい、バランスを崩して落下し負傷した。				99
71	2017	6	15～ 16	事務所におけるセキュリティシステムの変更工事に際し、配線のため天井裏に入り作業中、足元の天井パネルから突き出しているビス先を避けながら中腰で前進している時に、足元に気をとられ、足場である天井パネルから高さ1.3m程にある屋根を支える鉄骨（H形鋼）に、前頭部ヘルメット下の眉間右寄りを直接強打し、負傷したものである。	34	3	418	1～ 9
72	2017	6	9～ 10	定盤を搬入設置時に、定盤がずれていたため、位置調整を行うために開口部の端を移動していたところ、照明の光が目に入り、端から足を踏み外して、深さ1.5mのピットに転落し、架台に胸部を強打した。	60	1	416	10 ～ 29
73	2017	6	13～ 14	主灰コンベヤ上部で減速機交換（新品を据付）中に、減速機を設置する為、台座固定用ボルトのネジ締めをスパナを使用し、両手を使って行っていた。その際にスパナがボルトから外れ、身体のバランスを崩し、約2.5m下の床に墜落し、排水溝に左足がかかり、左足首の骨折及び脱臼をした。尚、当該現場は「安全帯着用・使用」が大原則となっていたが、当時に限り、不用意にもその義務を怠った為であり、かつ現場管理者がチェックを怠った為と思われる。	36	1	224	10 ～ 29
74	2017	5	15～ 16	現場から戻り、倉庫で作業していたところ、荷物が倒れてきたため左手で地面を支えた時に打撲および骨折をした。	23	19	611	1～ 9
75	2017	5	9～ 10	コンテナクレーンの脚立上で固縛用プレートを溶接完了後の移動中に足が雨で濡れていた為に、足が滑って落下しそうになった時に、フォークリフトの爪部に道具箱があり、それを掴んだ時に同部箱が落下し（地上1.8m位）、手と顎、膝下部を負傷した。	35	1	211	1～ 9
				2号機ボイラー屋外（1FL）において、ボイラー化学洗浄用仮設				

76	2017	5	10～ 11	配管の敷設を4名で実施していた。配管吊治具（以下「治具」）を使用して1本目の配管敷設を終えた後、当該配管横に治具を移動させる際、傾けた状態で治具を横引するため、作業員3名で支えていた。治具の車輪が反被災者側に動いた際、治具のバランスが崩れ転倒し、被災者の肩甲骨付近を強打した。	64	5	391	30 ～ 49
77	2017	5	13～ 14	内作場で、道工具の準備中、棚上部の工具箱を持ち、降りる際に、脚立を踏み外し転落した。その際、脚立の踏み棧に右足が入って脚立と共に倒れ、骨折負傷した。	58	1	371	1～ 9
78	2017	5	9～ 10	工場内モノレールスタッカーにてマスト内カウンターウエイトのガイドローラー交換作業中に、ウエイトを回転させるために、吊りチェーンとウエイト間にセットしたワイヤー（6mm）が破断して、ウエイトが落下し、走行レールとウエイト間に挟んでいた角材を取ろうとした被災者の右手を挟んだ。	58	7	211	1～ 9
79	2017	5	15～ 16	搬入先工場内で搬出口の解体作業中、屋根に上りブルーシートを巻き上げる時、ロープが外れ屋根から地面に転落し、右腕と右肩を負傷した。	36	1	371	1～ 9
80	2017	4	15～ 16	工場混合設備のドラムミキサーリング測定を行うための停止位置確認を終え、モンキータラップを降りる際に足を踏みはずし、右足付け根を捻った。	54	1	371	10 ～ 29
81	2017	4	14～ 15	病院屋上にて蒸気配管の改修時に、熱水を逃して作業中、熱水をすべて出しきったので継ぎ手部分を取り外して作業をした時、残っていた熱水がかかり両手の甲とお腹をやけどした。	59	11	391	1～ 9
82	2017	4	13～ 14	物入建具工事現場で使用する物入建具製作中、自社作業場で丸のこ昇降盤で木材を切断作業中、木材のふしが飛び右手の中指、薬指に当たり負傷した。	62	4	131	1～ 9
83	2017	4	15～ 16	空調機入替工事にて、会社で作業終了後の片付け作業中、誤って会社入口の段差（コンクリート高さ10cm程度）を踏み外し、左足背部及び左足靭帯を負傷した。	26	2	417	1～ 9

84	2017	4	8~9	ボイラー前のグレーチング床（床面グレーチングは番線にて仮固定）で、製品（重量180kg）の据付を同僚と2人で行っていた。仮置きしていた製品を据付位置へ移動する為、上部フロアからチェンブロックにて斜め引きをしている最中、製品と一緒に仮固定してあった床面グレーチングの番線が破断して、グレーチングが外れ、その上に乗っていた本人は約5.6M下の階段踊り場まで墜落した。	57	1	416	10 ~ 29
85	2017	4	8~9	被災者は、工場内の電気集塵機改修工事現場で、集塵機のホッパー接続部分を清掃しようと、ホッパー上（地上約3m）に乗って作業をしていたとき、足を踏み外し約3m下のコンクリート基礎に落下し被災した。	43	1	418	1~ 9
86	2017	3	14~15	工場の避雷針改修（震災復旧）工事で製鋼スクラップヤードの避雷針ポール取り替えをクレーンに搭乗設備を設けて2名（作業リーダーと被災者）で作業をしていた。避雷針用架空地線を新ポールに取り付けた後、断線した線の接続の為、作業リーダーは安全帯のフックを新ポールに掛けてからスレート屋根に移動し接続の準備を行っていた。その後ろで「ガシャッ」と音がしたので振り返ると被災者がスレート屋根の明り取りを踏み抜き約16m下のスクラップヤードに墜落した。	31	1	415	1~ 9
87	2017	3	15~16	工場内において空気配管の修理作業中に、600mmモンキースパナで配管用エルボの締め付け作業を行っていたところ、スパナがエルボから滑り、エルボ脇に設置されているパネルの付属品に右手を強打し、右手薬指を負傷した（手袋着用なし）。	55	3	364	10 ~ 29
88	2017	3	11~12	倉庫にて、鉄骨をトラックの荷台に積んでいたところ、鉄骨と鉄骨の間に右手人差し指を挟んでしまい、右手人差し指を負傷した。	47	7	521	1~ 9
89	2017	3	14~15	会社で機材積降段取作業中、受材の修正を行おうとして、鉄板の吊り場際（高さ120mm）で玉掛が外れ、鉄板の下に手を入れ	23	4	372	10 ~

				てしまい、右手を打った。				29
90	2017	2	16~17	フェンス設置工事中に基礎石を設置する為50cm程掘削していた穴に足を滑らせ、転倒までしなかったが左足を穴の中で捻りくるぶしの上の骨を折った。	60	2	417	1~9
91	2017	2	12~13	社員4名と共に現場に入り、各機器に分散し被災者は5-A返送汚泥流入可動堰開閉器架台上で、開閉器スピンドルカバーに文字を記入している時に曇りから小雨となった。昼食の時間となったため、他の社員と共に仕事を中断し、開閉器架台上から後側にある点検用の開口部に設置してある合成木材製蓋の2枚の内1枚の上に降りた際、蓋が良く閉まっていなかったのか、その1枚と共に約7m下のコンクリート地下面に落下し、全身を打撲し、事故から約1時間後に救急搬送したが、同日死亡した。	57	1	414	1~9
92	2017	2	15~16	5号機ポリシング機改造工事現場で、移動中、被災者は仮に敷設された電線（又は保護用プリカチューブ）に躓き転倒し、顔面を強打した。	29	2	417	—
93	2017	2	13~14	分水プール給排水設備改修工事現場に於いて、掘削穴2.3m深の穴の中で配管作業中、掘削穴地上プールサイドで杭打ち及び川砂埋戻し作業中のバックホウが横転してきたため逃げる際、サポートのアームとバケットが右肩と腰に接触して負傷した。	35	4	142	10~29
94	2017	2	13~14	分水プール給排水設備改修工事現場に於いて、掘削穴2.3m深の穴の中で配管作業中、掘削穴地上プールサイドで杭打ち及び川砂埋戻し作業中のバックホーが横転してきたため逃げる際、バックホーのアームとバケットが右肩と腰に接触して負傷した。	44	4	142	10~29
				本社内で補修工事のための工事機材を2tトラック上で整理していた。その際、右足作業着の裾がトラックの荷台に引っ掛かってしまい、バランスを崩し、荷台から転落し、左膝周辺部を地				



95	2017	2	13~14	面に強打し、負傷したものである。（トラック荷台から地面まで約1m、後ろ向きで地面に落下したが、右足裾が荷台に引っ掛かったため、地面に対して体が正面に近い向きになり、左膝付近を打ちつけた。）	63	1	221	—
96	2017	2	16~17	更新工事に伴う施主検査中、建物内階段を移動中に2階から下る際、階段を踏み外し1階の踊り場まで転倒したものである。頭・顔からの出血があったため救急搬送し、検査確認及び処置をした。	58	1	413	1~ 9
97	2017	2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手のクラウンが交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	26	17	231	1~ 9
98	2017	2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車が交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	23	17	231	1~ 9
99	2017	2	5~6	工場から夜勤作業を終えて会社のレンタカーで会社に帰る途中（乗車人員5名）の交差点で自車が交差点で右折しようとした際、走ってきた相手の自動車が交差点の信号は赤にもかかわらず信号無視をして自車に衝突し、自車に乗っていた5名が負傷した。	20	17	231	1~ 9
100	2017	2	6~7	自社の倉庫で四角い木材をトラックに搬入中、トラック荷台あたり部にぶつけた。	35	3	221	10 ~ 29

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。